

令和5年 第4回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和5年 第4回宮崎市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和5年4月19日(水) 13:40～15:00
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 **【教育長・教育委員】**  
西田教育長、松尾代表教育委員、片山委員、小林委員  
(欠席：畠山委員)
- 【事務局】**  
迫田教育局長  
(企画総務課) 河野課長、砂田補佐、堀補佐、  
甲斐主査、小八重主任主事、野妻主任主事  
(学校施設課) 齋藤課長  
(学校教育課) 重盛課長、矢野補佐、田中補佐  
(教育情報研修センター) 堀之内所長、栗原次長、野邊次長  
(生涯学習課) 長田課長、大田原補佐  
(保健給食課) 弓削課長、児玉補佐  
(文化財課) 町田課長、井田補佐

4 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第9号	令和4年度第5回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について	学校教育課長
報告第10号	教職員の事案の報告について	学校教育課長
報告第11号	事故等の報告について	学校教育課長

西田教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただ今から、第4回教育委員会定例会を開会します。</p> <p>本日ですが、畠山委員が欠席となっています。本日の傍聴者は、ありません。</p> <p>それでは、会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、片山教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	それではまず昨日の事故について事務局から報告をお願いします。
迫田教育局長	<p>昨日、文化財課の職員が発掘調査の現場において、生き埋めになるという事故がありました。お手元に資料をお配りしていますが、概要としては、大字浮田の埋蔵文化財確認調査の現場に、文化財課の職員2名が試掘作業に向かいました。他に重機を扱う民間の委託業者から1名、計3名が現場におり、職員1名が試掘坑内で作業していたところ、土の壁が崩落して、生き埋め状態となったというのが事故の概要です。</p> <p>時系列に説明しますと、9時過ぎに文化財職員2名が現場に到着。そのうちの、再任用の職員が、15時半になる頃ということですが、3か所掘った試掘坑のうち、3か所目、長さが5.8メートル、幅1メートル、深さ2メートルの長方形の試掘坑内で北側の土の壁を整え、どういった地層なのかとか、どういう遺跡があるかを調べる作業中でした。もう1人の職員が、公用車の方に測量機材を取りに行き、戻ってきた時には、土の壁が崩落しており、試掘坑内が埋まっており、中の職員が生き埋め状態であったということです。</p> <p>当時、重機を扱っていた民間業者の方は、1つ目と2つ目の試掘坑を埋める作業していたということで、そんなに広いところではなかったのですが、その崩落した現場を見た方はいないという状況です。15時30分に、職員が警察に電話をして、救急隊の出動を要請。民間の委託業者の重機のオペレーターは、人力で救出のため掘削を続けたということです。もう一人の職員も人力で掘削しようとしたようですが、土が多く、できないというところで、警察に電話したということです。15時47分頃に、救急隊員が到着して、試掘坑内北側に職員がうずくまった状態で救出されました。そのまま47分頃に救出されて、救急隊が心肺蘇生をしながら、16時15分ごろ県病院に搬送されました。その当時心肺停止状態が、約20分ぐらい続いています。現在も意識不明の状態、家族も会えない状況です。</p> <p>今後の対応といたしましては、今回の現場での試掘作業は昨日で終了していますが、年間100件ぐらいの調査事項あり、業者の関係や依頼人の方も借金をして市に依頼している部分もありますので、いつまでも止めていられないと思います。今日と明日は一旦試掘作業を止めておりますが、安全対策をしっかりとった上で、複数名でしっかりと目を離さない、離れる時は試掘坑から出るとか、そういったことをして、試掘作業については再開しないといけないと思います。原因を調査しまして、しっかりと安全対策をもう1回練り直していきたいと考えています。現在は、その原因についても、まだ予測の域を出ていませんので、県の教育委員会それから文化庁にも報告をして、今後の対応を図っていきたくて考えています。説明は以上です。</p>
西田教育長	ただいまの説明について何かご質問等はないでしょうか。説明付け

	加えるようなことはありませんか。
委員	なし。
事務局	なし。
西田教育長	<p>ないようでしたら、会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをお開きください。(1) 教育長報告は、こちらに記載のとおりとなっております。このうち、まず、4月13日(木)に東京都で行われた「全国都市教育長協議会第1回常任理事会・理事会合同会議」について、報告いたします。2ページをご覧ください。</p> <p>概要にありますように、役員の選任と決算、そして予算案についてということと本年度5月に、帯広で全国の都市教育長協議会・研究大会があります。その内容についての協議がありました。</p> <p>あと文部科学省の講話ということでいくつか紹介しますと、まず最初に幼児期と小学校の接続の改善ということで、幼児教育課長から話がありましたが、「ペリー就学前プロジェクト」というのをご存知ですか。私はあまりよく知らなかったのですが、これはアメリカで低所得者層の3～4歳の子どもについて、質の高い幼児教育を受けるグループと受けないグループがあって、その後の40歳までの追跡調査をするというものなんです。それで、結果はIQは10歳頃までは高いんですが、それ以降は差がなくなる。差が最初あってそれがだんだんなくなる。しかし14歳時の学力やその後の社会生活差が生じているということで、学校での学力やその後の社会生活での差は、認知能力であるIQではなく、非認知能力が影響を及ぼしている。要は創造性とか、やり抜く力とか、失敗しても諦めないとか、そういうような力が、実は大切なんだということがこの実験で分かったということで、特に「GRIT(グリット)」とってやり抜く力というのは、勉強で覚えるものではなく、やはり普段のそういう小さい頃からの体験、これを重視していくことこそ、将来に繋がるんだよというような話でした。幼稚園から小学校のこの繋ぎの2年間をもっと重視しようというような動きは国にも起こっていますが、これは結構なるほどなというのもありました。</p> <p>あとはデジタル教科書、今、子ども達には、外国語ともう1教科という話が出ていますが、令和6年度から段階的に教科を増やして導入していくという話です。ただし、最終的にはデジタル教科書だけになるということは考えておらず、両方の併用でやっていくということ、やはり紙には紙の良さがあるので、どちらも両方大切にしながらやっていくという話が出てきました。</p> <p>あと、特別支援の教育の話が出て、人数でちょっとびっくりしたのですが、平成24年度と令和4年と10年間の差をみたようです。そうすると子どもは0.9倍に下がっています。人数が1040万人が952万になっていて、それに対して、特別支援教育を受ける児童生徒数は、30.2万人から61.8万人ということで、約2倍に人数も増えているということです。だから学校における教育の中で、特別支援教育というのは非常に重要なものであるというようなことで各種説明をされました。そういう状況で、これからも我々としてはやはりそこは大切にしていけないといけないということです。</p> <p>あとは地域部活動について、これについては国が「3年間で地域移行、土日の移行をやる」という目標から、「できるだけ早期に努力をしていきましょう」という目標に変えて、予算も落ちたという中で、ある教育長から、やはり予算の確保をしっかりとしてほしいと意見があ</p>

	<p>りました。結局、指導者に対する謝礼をどうするのか等という問題は、一地方公共団体ではできない話なので、国全体を含めてやってほしいというお話が出ています。以上のような話がこの会が出たということでした。私の報告は以上です。</p> <p>続きまして、 「(2) 委員報告」、「(3) 教育局長報告」ですが、報告案件はありません。</p> <p>次に、「(4) 各課行事報告」につきまして、こちらに記載のとおりとなっておりますが、「②学校教育課」行事から、3月27日(月)に行われました「令和4年度第5回宮崎市いじめ防止対策委員会」につきましては、後ほど議事の中で事務局より報告をお願いします。</p> <p>次に、同じ学校教育課から、小中学校の入学式及び教職員新任式・新任者研修会について、報告をお願いします。</p>
重盛学校教育課長	<p>それでは学校教育課関係の主な行事についてご報告をします。まず4段目です。4月3日の新規採用教職員辞令交付式です。小学校67名、中学校29名、合計96名が今年度採用となり、辞令交付式を行っています。</p> <p>続きまして、5段目、4月5日に行いました教職員新任式です。教育委員の皆様にもご出席いただき、ありがとうございました。今年度は校長19名、教頭16名を含めて、273名の教職員が赴任し、新任式を行っています。</p> <p>続いて6段目です。4月11日に行われた中学校の入学式です。今年度3,275名が入学しました。昨年度は3,248名でしたので、27名増です。現在のところ中学校の在籍は9,806名となっています。</p> <p>続きまして4月12日に行われた小学校の入学式です。本年度、3,561名が入学しました。昨年度は3,498名でしたので、63名の増加となっています。現在のところ、小学校の在籍は2万1,949名となっています。小中学校に在籍します児童生徒は、現在3万1,755名となっています。入学式は、新型コロナウイルス感染症の対応が緩和されましたので、来賓や保護者の制限をなくし、学校の実情に応じて実施されました。教育委員の皆様にもご出席いただきありがとうございました。報告は以上です。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今、行事報告がありましたが、何かお気づきになったことがありましたか。今回、入学式に参加いただいたということで、ご感想をお願いします。</p>

<p>小林委員</p>	<p>ここに記載の卒業式と入学式、2か所、参加しました。特に卒業式はコロナの中で何を縮減させていくとか、かなり議論された卒業式だったのかなと思います。一方で大事な催しといますか、子ども達の例えば歌です。こういったものに対しては、大切にされている状況や、あるいは学校によっては、その歌も録音したものを流すとかいう形で、学校間の差もいろいろ生じているという状況もお聞きしたところです。校長先生方も情報共有し合って、自分の学校なりの独自の式をあげてらっしゃると思うんですが、何を省略していくのかっていうことは、やはり議論の余地があるところなのかなというふうに思いました。</p> <p>ただ一方で教育委員会の挨拶が資料の中でも、綴じ込みをされてまして、この辺りは簡略化されていて、こういったこの学校も共通して行われることに対しては、今回のことを受けて、今後も教育委員会の挨拶は、資料綴じ込み等の対応でも問題ないのかなというふうに、いろいろ考えさせる式でした。</p> <p>一方で学校用務員の方、具体的には東大宮小学校の用務員さんが、一生懸命、休日も返上されて、お花を栽培されて、本当に体育館を色とりどり、お花で飾っている様子を校長先生から紹介していただきました。そういった方々の支えというものも、すごく大事にされてるんだなということを感じて、今日紹介させていただきました。以上です。</p>
<p>片山委員</p>	<p>私も卒業式と入学式と出席し、小学校の卒業式はマスク着用で行ったのですが、子ども達はマスクなしで参加していました。その卒業式ですごく感動したことがあります。式といえば、皆さんもイメージするのは、子どもが前にいて、保護者もその子ども達の後ろにいてというのが一般的な式だと思うのですが、その常識にとらわれず、対面式でした。子ども達と保護者が対面で、先生方が斜め前、後ろに5年生、在校生という形で、みんなで円を画く様な形の卒業式でした。保護者の立場からいうと、子ども達の表情を見たいというのがあると思います。表情も見れますし、起立した時に、椅子ではちょっと身体は斜め前に向けるのでとても綺麗に揃っていました。保護者の方もすごく雰囲気良く、コロナ禍でもちょっと解除されてきてたので在校生も参加することができて、6年生の姿が見れるというのは、本当に良いものがありました。保護者の挨拶や子ども達の挨拶も一般的にあるかと思いますが、最後に子ども達が退場の時に、花を1本ずつ持って保護者のもとに行って、保護者も多分そんなことは思っていなかったと思いますので、涙涙の感動で、常識に捉われない、何をもって卒業式、誰のための卒業式なのかということ、やはり考えさせられました。</p> <p>一方で入学式の方も、小学校と中学校と連日あり、比較するものでもありませんが、やはり中学生はほとんどマスクを着用していました。学校の先生もほとんどマスクでしたし、保護者や来賓もマスクを着用していました。私はマスクを外していましたが、翌日の小学校の入学式は、子ども達はマスクを外して、保護者の方は、マスクをしてという状況で、もうこれは仕方ないのかというところは感じたところでした。中学校の方は新1年生と保護者だけで、小学校の方は、在校生の6年生がお世話をしながら迎え入れていくようなところがあって、少しずつコロナ禍が明けて日常に戻ってきてるのかなと感じる良い入学式でした。</p>

	<p>長くなりましたが、一般的な常識というのも本当は誰のための何のための学校教育なのかというところは、考えていく必要があるのかなというところは感じた式でした。</p>
松尾委員	<p>私の方は、卒業式から入学式へと来賓の数が増え、やはりコロナ禍明けをしてる、日常が取り戻されてきている、その証かなと思います。それから式次第も従来の形に非常に近い形で行われておりました。中学校では、歓迎の言葉を生徒会長が言いましたけども、非常に温かい表現力、素晴らしいものがありました。</p> <p>あと気になるのは、やはり小林委員も言われたように、目的は何だろうかと考えて、何を残すか何を取り入れ、これは外していいかというものがやはり持つておかないといけないのかなというのが1つあります。</p> <p>それからもう1つ、欠席がですね、卒業式のとき中学校は欠席が非常に多く目立ちましたが、今回は、非常に少なかったです。少なかったのですが、私が行った中学校、百数十名が入学しましたが、3名が欠席でした。スクールソーシャルワーカーに確認をしたら、やはり小学校の時から不登校気味であったということで、入学式に来られないというのは、よほど深刻な問題を抱えてるのかなというのを感じました。</p> <p>大分日常が取り戻されつつあるということを感じました。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほど片山委員も言われましたが、親と子の対面式、私の行った赤江小学校も同じような形で親にとっては嬉しかっただろうなと思います。やはり子ども、保護者が一番喜ぶ卒業式、入学式であってほしいなというので、学校教育課からも4月当初に入学式については、できるだけそういう方向でという話をしたところも良かったのかなという感じを受けます。確認として、何を省略するかということや目的をしっかりとってやってほしいということは、やはり学校に対しての指導ということで我々としても大切かなと思います。</p> <p>教育委員会の挨拶がありませんでしたがいかがでしょうか。どうでしょうか、もうなくて問題ないでしょうか。その辺はどうですか。</p>
片山委員	<p>私、小学校の入学式に行った際に、校長先生が劇をされました。小学校だからというのもあるでしょうが、劇のような「挨拶を何々ちゃんが来て」というような紙を使って挨拶をして、子ども達の心を掴んでたわけです。難しい話ではなく、来られていた地域の方がほのぼのして親しみやすくとても良かったという話をしていました。その地域の方が、「教育委員会の挨拶とかあんな難しいことを子ども達が聞くわけないもんね。」とおっしゃっていたのです。その時に、個人的な意見ではありますが、そうだなと、保護者もわざわざ教育委員会の話を聞きたいだろうかというのは感じたところでした。</p>
西田教育長	<p>みんな頷いておられます。</p> <p>それでは、教育委員会の挨拶については、このような形で続けていくということで、今後検討していくということでよろしいですか。</p>

松尾委員	<p>はい。</p> <p>小学校と中学校はやはり違うのかなと思います。小学校は時間を待てない子どもがやはり多いかなという気がします。話の数を限らないといけない。そういう中では、来賓紹介の時に一言、発する機会がありましたので、あのぐらいの言葉を述べさせていただければいいのかなという気もしました。</p> <p>でもやはり、何らかは言わないといけないのかなと、立場上やはりお祝いはしたいです。</p>
西田教育長	<p>今のようなことを考慮しながら、検討していきたいと思います。それでは、「4 議事」に入らせていただきます。3ページをご覧ください。</p> <p>本日、議案はございません。</p> <p>報告が3件でございます。</p> <p>報告第9号「令和4年度第5回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について」、報告第10号「教職員の事案の報告について」、報告第11号「事故等の報告について」ですが、こちらについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	それでは、これより非公開とします。
西田教育長	<p>それでは、ここで非公開を解除します。</p> <p>次に、会次第「5 その他」に移ります。</p> <p>「宮崎市子ども電子図書館のサービス開始について」、事務局から説明をお願いします。</p>
長田生涯学習課長	<p>今月の13日から「宮崎市子ども電子図書館」と名しまして小中学校児童生徒を対象とした電子図書館サービスを開始しています。</p> <p>電子図書館とは実際に図書館に行かなくても、インターネットに繋がったパソコンやタブレット、スマートフォン等から電子書籍を無料で借りて読むことができるサービスです。宮崎市では子ども達の読書活動を維持、推進を目的としまして、県内では自治体初となる「宮崎市子ども電子図書館」のサービスを開始しています。</p> <p>詳細の説明につきましては、この定例会終了後の勉強会におきまして、実際の電子図書館の画面をお見せしながら説明したいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
西田教育長	その他、委員の皆様から情報提供等ありましたらお願いします。
小林委員	<p>私は宮崎市の景観計画の作成に教育の代表として参加しましたのでご紹介します。</p> <p>3月をもって、新しい景観計画が出されています。こちらをみますと、カラー刷りで社会科の授業にも活かせるような宮崎市内の景観がどういった歴史を持ってなされてきたか、どういった計画を持って進められているかが分かりやすく説明されていて、私は「教育の中でもすごく価値の高いものができましたね。」という感想を述べましたが、情報提供として、何かご紹介する機会等がありましたら、学校等にもできるといいのかなというふうに思っています。以上です。</p>
西田教育長	ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。
委員	なし。
西田教育長	ないようでしたら、次に、会次第「6 次回教育委員会について」、事務局から説明をお願いします。



河野企画総務課長	次回定例会は、令和5年5月31日（水）、13時40分から教育委員会室において、お願いしたいと考えています。また、年間計画をお手元にお配りしています。以上です。
西田教育長	ただ今説明のありました日時で、委員会を開催しますので、よろしくお願いします。 続きまして、会次第「7行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	それでは、7ページ会次第「7行事予定」につきまして、6月15日までの行事予定を説明します。 主なものですが、表の2段目、4月21日金曜日、全国市町村教育委員会連合会第1回常任理事・理事会合同会議が東京都であります。松尾代表教育委員に出席をお願いしています。次に、4月21日、G7宮崎市農業大臣会合歓迎レセプションがありますが、教育長に出席をお願いしています。それから、5月1日ですが、現在、選挙期間中ですけれども、新しい宮崎市議会議員の総会があります。市長、教育長、教育長局長もご出席する予定です。それから、5月13日は、市のPTA協議会定期総会があります。教育長ご出席です。それから、5月17日から19日にかけて、全国都市教育長協議会第2回常任理事会他、総会等が、北海道帯広市であります。教育長ご出席です。その次ですが、5月24日、全国市町村教育委員会連合会の定期総会功労者表彰等が、東京都ありますが、松尾代表教育委員のご出席をお願いします。5月26日には宮崎県市町村教育委員会連合会の理事会を予定していますので、松尾代表教育委員の出席をお願いします。5月31日は令和5年第5回定例教育委員会、6月15日は令和5年第6回定例教育委員会ということでお願いします。以上です。
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	それでは、以上をもちまして、第4回定例会を終了します。